



山口県社協からのお知らせ

福祉・介護のしごとと魅力発信フェア2023を開催しました！！

12月16日（土）に山口県総合保健会館において、「福祉・介護のしごとと魅力発信フェア2023」を開催しました。このイベントは、福祉・介護の仕事に興味のある方や仕事のモチベーションを上げたい現役の福祉・介護職の方を対象に、福祉・介護の仕事の面白さや魅力を広くお伝えすることを目的に開催したもので、当日は約200人の方が来場されました。

ステージイベントでは、介護職員初任者研修を終了し、全国の福祉施設でレクリエーションを通じた利用者との交流活動に取り組んでいるお笑い芸人「レギュラー」による特別講演や、現役の福祉・介護職員とレギュラーの2人が福祉・介護の仕事のホンネについて語り合うトークセッションのほか、福祉・介護の現場で働く若者のグループ「11=Jack」（ジャック）によるステージパフォーマンスが披露されるなど、時に会場を巻き込みながら、楽しく福祉・介護の仕事の“いま”をお伝えすることができました。

また、同じフロアに、展示・体験・相談イベントとして、福祉機器・ロボットの展示・体験コーナーや介護食の展示・試食コーナー、就業環境の改善を通じて人材の確保・育成に取り組むことを宣言している「やまぐち働きやすい介護職場宣言事業所」による就職相談ブースを設け、来場者は、最新の介護ロボットに触れたり、働きやすくなった介護職場の説明を受けたりしながら、思い思いにイベントを楽しまれました。

福祉・介護の慢性的な人材不足が続く中、福祉・介護のしごとについてより多くの方に知っていただき、このような取組が少しでも人材不足解消につながることを願い、これからも福祉・介護のしごとの魅力を発信していきます！！



お笑い芸人「レギュラー」の講演会



山口県作成の魅力発信ポスター



トークセッション

◆問合せ先

福祉人材部（山口県福祉人材センター）

TEL：083-902-2355 Mail：jinzai@yg-you-i-net.or.jp





令和5年度 ふれあいいいきいきミーティング を開催しました。

令和5年12月6日（水）山口県健康づくりセンター第1研修室にて「令和5年度ふれあいいいきいきミーティング」を開催しました。

県内のサロンリーダー、担い手として活動されている70名にご参加いただきました。

第1部は、「オーラルフレイル予防について」と題し、（公社）山口県歯科医師会 地域保健委員会委員 歯科医師 村田 道明（むらた みちあき）氏から、歯だけでなく、舌の動き、口の乾きや唾液の分泌も重要な要素で、飲み込みが悪くなると誤嚥性肺炎のリスクも高まりひいては寝たきりになってしまうと日常生活を例にあげご指導いただきました。また、山口県在宅歯科保健医療連携室 歯科衛生士 小松 右子（こまつ あきこ）氏にはオーラルフレイル防止の5つの効果別体操をご指導いただき、「顔がすっきりしました。」「日頃大きな声を出すことがないので、あーいーうーべー体操は、今後続けたい。」と好評価をいただきました。

第2部は、「頭と体をつかって認知症予防に取り組もう」と題して済生会山口地域ケアセンター 主任理学療法士 青木 健（あおき たけし）氏に「コグニサイズ（国立長寿医療研究センターが開発した運動課題と認知課題を両方同時に行い心身の機能を効率的に向上させることが目的の運動）」をご指導いただきました。簡単なステップと数を数えながら手をたたくという単純な段階から少しずつ複雑になる動きで、講師から「間違えてもいい。笑って。」と励まされながら実践しました。「動くこと、身体を動かす事、そして頭を使うことの大切さに改めて気付かされました。」と感想をいただきました。

今後も、県内のサロン活動の活性化と担い手同士の交流を促進するために取り組んでいきたいと考えております。



◆問合せ先

地域福祉部 生涯現役推進班（山口県生涯現役推進センター）

TEL：083-928-2385





第35回全国健康福祉祭えひめ大会 (ねんりんピックえひめ2023)が開催されました!



10月28日(土)～31日(火)に、全国各地から多くの選手が愛媛県に集まり「第35回全国健康福祉祭えひめ大会(ねんりんピックえひめ2023)」が盛大に開催されました。

各競技会場では、選手同士で鼓舞し合ったり、勝利の喜びを分かち合ったりする姿もあり、日頃の練習の成果を存分に発揮されていました。

参加された方々からは

「会場でのおもてなしや開会式での演出に感動しました。一生の思い出になりました。」

「晴天のもと、競技できる幸せを感じました。」

「他県の選手との交流もできました。」

「今回掲げていた目標の達成ができた。ぜひ、今後も競技を続けて、ねんりんピックに参加したい。」

など、多くのコメントをいただきました。

【スポーツ文化交流大会上位入賞者】

種目	チーム名・氏名	成績
ゲートボール	ナイスボール	準優勝
健康マーじゃん	ふくふく健康まあじゃん	団体戦2位
ゴルフ	杉本 克彦	個人戦(70歳以上)準優勝
マラソン	伊藤 正志	70歳以上3km(男)第3位
水泳	田中 健二	70～74歳 50m平泳ぎ 第1位
		70～74歳 25m平泳ぎ 第1位
	樋口 昭二	80～84歳 50m平泳ぎ 第1位
		80～84歳 25m平泳ぎ 第1位

【美術展入賞者】

賞	部門	氏名	題名
銅賞	彫刻	新田 正二	2番目の命
最高齢者賞	洋画	土肥 健次	生命

スポーツ交流大会・文化競技・文化交流大会 上位入賞者、山口県選手団上位入賞者、美術展入賞者等の詳細につきましては、山口県生涯現役推進センターホームページ(<http://geneki.jp/>)に掲載しております。





【大会の様子】



◆問合せ先

地域福祉部 生涯現役推進班（山口県生涯現役推進センター）

TEL：083-928-2385





寄附・寄贈

一般社団法人 生命保険協会山口県協会 福祉巡回車 及び 助成金 贈呈式が行われました

日 時：令和5年12月12日（火） 午後1時30分～午後2時まで
会 場：山口県社会福祉会館 3階 Web 等会議室 及び 前庭

一般社団法人 生命保険協会 山口県協会では、社会貢献活動の一貫として、協会加盟各社の協力により、福祉巡回車の寄贈並びに、障がい者支援を行っている団体に助成、福祉関連団体へ寄付を行っています。

この度、県内の1市社協、1団体への寄贈が決まり、贈呈式が行われました。

【次第】

- (1) 出席者紹介
- (2) 生命保険協会 山口県協会 会長 あいさつ
- (3) 山口県社会福祉協議会 会長 お礼の言葉
- (4) 贈呈【マスコットキー・目録】
- (5) 謝辞・感謝状贈呈



【出席者】

- | | | | |
|---------|----------------------|------|---------|
| (1) 贈呈者 | 一般社団法人 生命保険協会 山口県協会 | 会長 | 佐藤 幹治 氏 |
| | | 副会長 | 新造 隆 氏 |
| | | 事務局長 | 岩端 昭則 氏 |
| (2) 受贈者 | 社会福祉法人 山口市社会福祉協議会 | 会長 | 徳永 雅典 氏 |
| | | 事務局長 | 松村 一城 氏 |
| | 一般社団法人 山口県視覚障害者団体連合会 | 事務局長 | 岡本 博美 氏 |
| (3) 県社協 | 社会福祉法人 山口県社会福祉協議会 | 会長 | 隅 喜彦 氏 |
| | | 専務理事 | 小野 嘉孝 氏 |



◆問合せ先

総務企画部 総務班 TEL：083-924-2777 FAX：083-924-2792





浄土真宗本願寺派 山口教区 福祉車両 贈呈式が行われました

日 時：令和5年12月12日（火） 午後3時～午後3時30分まで
 会 場：山口県社会福祉会館 3階 Web 等会議室 及び 前庭

浄土真宗本願寺派山口教区では、県内の市町における地域福祉活動の充実に少しでも役立ちたいという主旨で、平成5年から毎年県内の社会福祉協議会等に福祉車両を寄贈されています。

今年度の1台を含めると、本会を通しての寄贈は62台、本会を通さず寄贈された台数も含めると全体で68台の福祉巡回車両が山口県内の社会福祉に活用されています。

この度本会を通じて、浄土真宗本願寺派山口教区から平生町社協に寄贈いただくこととなり、贈呈式を執り行いました。

【次第】

- (1) 出席者紹介
- (2) 浄土真宗本願寺派 山口教区 教務所長 あいさつ
- (3) 山口県社会福祉協議会 会長 お礼の言葉
- (4) 贈呈【マスコットキー】
- (5) 謝辞贈呈



【出席者】

- | | |
|--|---|
| <p>(1) 贈呈者 浄土真宗本願寺派 山口教区</p> <p>(2) 受贈者 社会福祉法人 平生町社会福祉協議会</p> <p>(3) 県社協 社会福祉法人 山口県社会福祉協議会</p> | <p>教務所長 西本 浩二 氏
 仏教婦人会連盟委員長 西 喜久枝 氏
 仏教婦人会連盟事務局員 阿武 正法 氏</p> <p>会長 吉賀 康宏 氏</p> <p>会長 隅 喜彦 氏
 専務理事 小野 嘉孝 氏</p> |
|--|---|



◆問合せ先

総務企画部 総務班

TEL：083-924-2777 FAX：083-924-2792



令和5年度

スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します!



ホームページでも内容を紹介しています
<https://www.fukushihoken.co.jp>



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、動産総合保険、費用・利益保険)

① 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等の各種費用	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 施設の医療事故補償
 - ・ 医務室の医療事故補償
 - ・ 看護職の賠償責任補償
- オプション3 ● 施設の借用不動産賠償事故補償
- オプション4 ● クレーム対応サポート補償
- オプション5 ● 施設の感染症対応費用補償

休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
- ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

- ② 個人情報漏えい対応補償 ③ 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- ① 入所型施設利用者の傷害事故補償
- ② 通所型施設利用者の傷害事故補償
- ③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- ① 職員の労災上乗せ補償
- ② 役員・職員の傷害事故補償
- ③ 役員・職員の感染症罹患事故補償
- ④ 雇用慣行賠償補償



プラン4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL : 03(3349)5137
受付時間 : 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL : 03(3581)4667
受付時間 : 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)